

すくパオほけんだより

2023年度 春号
子育て世代包括支援センター
子育て支援室



新年度を迎えて、またひとつ大きくなったと成長を感じられる時期ですね。それと同時に環境の変化で体調を崩しやすい時期です。元気に過ごすためにも、正しい生活リズムを心掛け、朝ごはんもしっかり食べましょう。でも、お熱が出てしまったら？・・・

発熱の受診の目安は？

0～3か月

3か月以下の赤ちゃんは、急変しやすいので注意が必要です。
元気で、母乳・ミルクをよく飲んでいるなら、時間内受診へ。

- 体温に関係なく、元気がない。
- 母乳やミルクを飲まない。
- ぐったりしている。
- 元気がない。
- ひどく機嫌がわるい。
- 熱が 38℃以上。

▶ 時間外でも受診して下さい。

4か月以上

元気で、お熱があるだけなら、診療時間内で良いと思います。
熱が 38.5℃以上あるときは、すぐに受診しましょう。

- 体温に関係なく、元気がない。
- 母乳やミルクを飲まない。
- ぐったりしている。
- 元気がない。
- ひどく機嫌がわるい。
- 熱が 38.5℃以上。

▶ 時間外でも受診して下さい。

※ 発疹がある場合は、いつから出たか（熱と同時など）を受診時に伝えましょう。嘔吐、下痢の有無、おしっこの量や色、回数もいつもと違うかも確認し伝えましょう。



ヒトメタニューモウイルスについて

昨年、流行したウイルス。RSウイルスより、新しいウイルスなので、なじみがない方も、多いかもしれません。晩冬から春に流行する呼吸器感染でRSウイルスと同様に乳児の急性細気管支炎、肺炎の原因となります。

感染経路は、普通の風邪症状と同じく、接触感染、飛沫感染です。

症状は、発熱（4、5日続く）、咳、鼻水、喘鳴（胸がヒューヒュー、ゼーゼーする）など。

登校（園）基準 咳など安定した後、全身状態が良ければ、可能。手洗いを励行する。

